

# まほろばだより

2019  
December  
vol.31

～ Center for Diversity and Inclusion ～

## Contents

第31号



- ✓ Report1 「なら女性活躍推進倶楽部」の会員に登録されました
- ✓ Report2 本学教員の競争的資金獲得割合
- ✓ Report3 日本感染症学会学術集会で講演を行いました
- ✓ Information1 研究支援員を募集しています
- ✓ Information2 相談窓口のご案内
- ✓ Information3 FD・SD講演会を開催します
- ✓ Information4 本年度から施行の新たな勤務制度を知っていますか？

### Report

1

## 「なら女性活躍推進倶楽部」の会員に登録されました

本学は今年度、女性の活躍促進に向けて積極的に取り組みを推進する企業・事業所等で構成される「なら女性活躍推進倶楽部」の会員となりました。

その活動の一環として、イオンモール大和郡山において開催された「女性のための再就職応援フェスタ」に女性研究者・医師支援センターが出展しました。

本学は様々な職種と雇用形態があり、多くの女性が活躍する職場であることをアピールし、当センターの支援事業である研究支援員の募集を中心に求人紹介を行いました。再就職を希望する女性の声を聴く貴重な場となりました。

今後も当センターでは、奈良県と協力し様々な活動を通して教職員が生き活きと活躍できる環境整備に取り組みます。



ブース出展の様子



なら女性活躍推進倶楽部  
登録証書



なら女性活躍推進倶楽部

### Information

1

## 研究支援員を募集しています

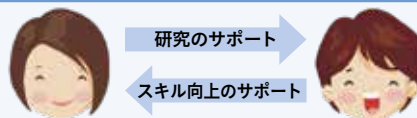
当センターでは、妊娠・出産、育児、介護等のライフイベントにより、研究時間が十分に確保できない女性研究者・医師に対し、研究支援員を配置しており、現在新たに研究支援員として働いていただける方を募集中です。

お知り合いの方、ご友人の方で関心をお持ちの方がおられましたら、当センターまでまずご一報ください。

採用情報はこちら▶



双方がやりがいを持って、生き活きと活躍！



#### 研究支援員

- やりがいのある仕事で、子育てとも両立できる！
- 先生が丁寧に教えて下さるから安心！
- すごく助かると思ってもらえて嬉しい！

#### 女性研究者・医師

- 子どもと接する時間が持てるようになった！
- 研究へのモチベーションが上がり、新しい論文が書けた！
- データ整理のおかげで研究がスムーズに行える！



## 本学教員の競争的資金獲得割合

現在多くの大学にとって外部資金獲得及び財源の多様化は取り組むべき課題となっています。外部資金獲得において最も一般的なのは競争的資金の獲得です。以下に示す競争的資金とは、科学研究費助成事業、厚生労働省科学研究費補助金、日本医療研究開発機構研究費、科学技術振興機構研究費、戦略的情報通信研究開発推進事業です。

図1 専任教員数（令和元年8月現在）

	性別	人数	合計
教養教育部門／ 法人・大学内の組織	男	21人	24人
	女	3人	
医学科基礎医学系	男	37人	54人
	女	17人	
医学科臨床医学系	男	222人	268人
	女	46人	
看護学科	男	6人	36人
	女	30人	
全体	男	286人	382人
	女	96人	

図2 部門別の専任教員割合

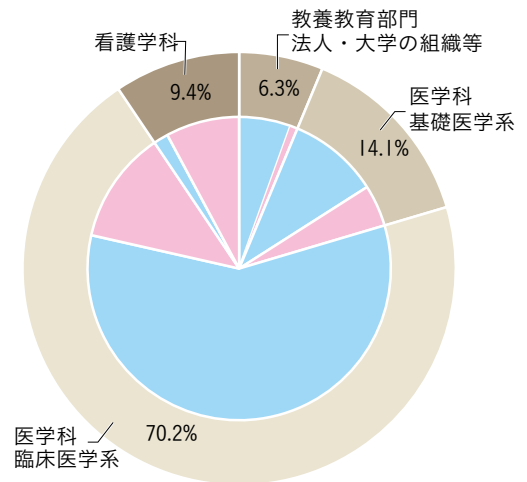
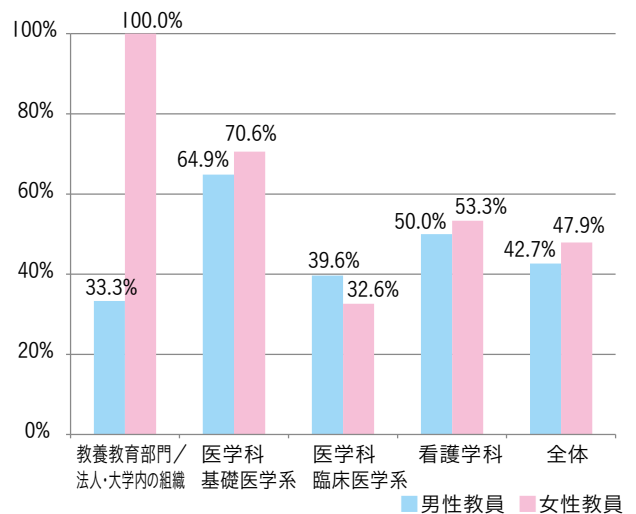


図3 競争的資金獲得教員数（令和元年8月現在）

	性別	人数	合計	獲得割合	
教養教育部門／ 法人・大学内の組織	男	7人	10人	33.3%	41.7%
	女	3人		100%	
医学科基礎医学系	男	24人	36人	64.9%	66.7%
	女	12人		70.6%	
医学科臨床医学系	男	88人	103人	39.6%	38.4%
	女	15人		32.6%	
看護学科	男	3人	19人	50.0%	52.8%
	女	16人		53.3%	
全体	男	122人	168人	42.7%	44.0%
	女	46人		47.9%	

図4 男女別競争的資金獲得教員割合



今年度、競争的資金を獲得した専任教員は168人で平成30年度の161人から7人増加しました。教員全体の獲得割合では平成30年度の42.4%（380人中161人）から44.0%（382人中168人）と上がりました。部門別では、医学科基礎医学系の教員獲得割合が66.7%（54人中36人）と最も高く、次いで看護学科の教員が52.8%（36人中19人）となっています。教養教育部門／法人大学内の組織の教員獲得割合は41.7%（24人中10人）、医学科臨床医学系の教員獲得割合は38.4%（268人中103人）でした。男女別では男性教員獲得割合が42.7%（286人中122人）、女性教員獲得割合が47.9%（96人中46人）と有意な差は認めません。



図5 競争的資金獲得教員割合の推移

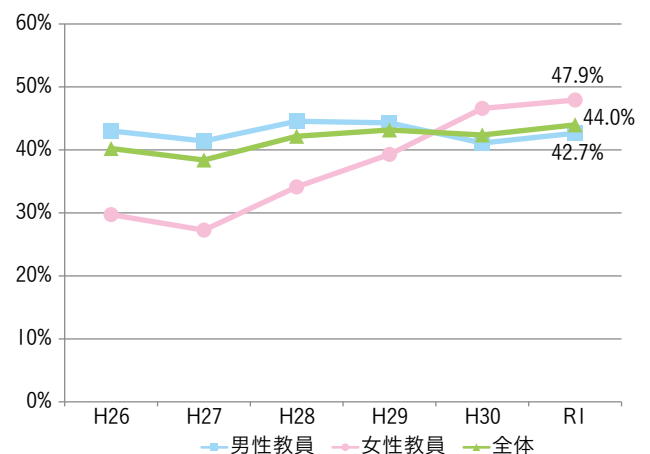
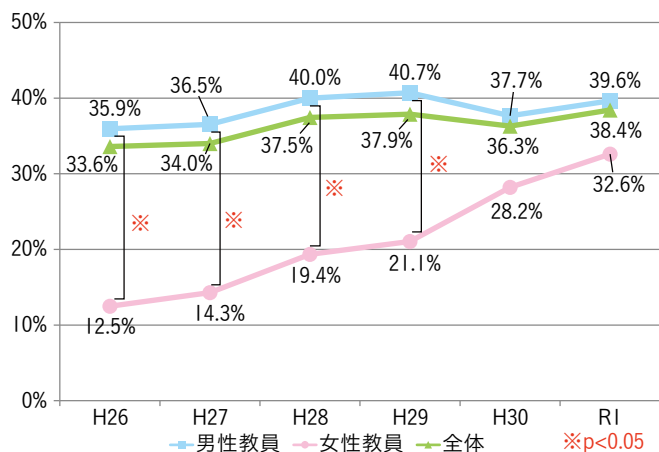


図6 臨床医学教育部門の競争的資金獲得教員割合の推移



平成26年度から令和元年度の競争的資金獲得教員割合の推移(図5)を見ると、過去6年間で穏やかに上昇し、直近4年間は40%を超えています。男女別で見ると、男性教員の獲得割合には大きな変化を認めませんが、女性教員の獲得割合は年々上昇し、平成30年度からは、女性教員の獲得割合が男性教員を上回っています。

これまで、本学女性教員の中で最も競争的資金の獲得割合が低かった臨床系女性教員においても、獲得割合が徐々に高くなり、平成26年度の12.5%から本年度には32.6%に上昇しています(図6)。平成30年度からは、臨床医学教育部門で認めた男女教員間における獲得割合の有意差が解消されています。

これらは、法人全体で取り組んできた女性研究者・医師に対する支援活動の成果と思われます。

今年度の競争的資金獲得に関する詳細なデータは当センターのホームページでも公開していますのでぜひご覧ください。

Report 3

## 日本感染症学会学術集会で医師の男女共同参画の現状と本学の取り組みについて講演を行いました

11月8日(金)静岡県浜松市で開催された日本感染症学会(西日本地方会学術集会、中日本地方会学術集会)の男女共同参画推進委員会企画で、当センターのマネージャー須崎康恵講師が、医師の男女共同参画の現状と奈良県立医科大学の取り組みについて講演を行いました。この講演会は、本学の感染症センター、笠原敬病院教授が男女共同参画委員として企画され、当日は司会も務められました。

本学教職員の皆さまが参加される学会においても、男女共同参画推進のための様々な取り組みがなされていると思います。講演会開催時の資料提供等、当センターでお手伝いできることがありましたら、どうぞお申し付けください。



Information

2

### 相談窓口のご案内

当センターでは、本学および附属病院の構成員であれば、**男女や職種、常勤・非常勤など関係なく**、ご相談を受け付けております。ハラスメントや人間関係等で悩んでおられる方は一人で抱え込まず、ご相談ください。まずは当センターのマネージャーが相談に応じます。状況に応じて心理相談員とも面談を行い、必要な支援を一緒にお探し、解決を図ります。相談の際のプライバシーは必ず守られますので、ご安心ください。

ご相談は、電話やメールで随時受け付けております。

女性研究者・医師支援センター「まほろば」基礎医学校舎5階  
TEL : 0744-23-8011 (直通) E-mail : jshien@narmed-u.ac.jp



Information

3

### FD・SD講演会「奈良県の男女共同参画～データから見てきたもの～」を開催します

奈良県の男女共同参画の現状と課題、取り組みについて、県庁職員の方にご講演いただく予定です。当FD・SD講演会は教育開発センター、人事課と共催で開催します。

参加無料、事前申込み不要ですので、学外の方も是非ご参加ください。多くの方のご参加をお待ちしています。

【講師】奈良県 福祉医療部 ども・女性局 女性活躍推進課 戸毛 由樹子 課長

【日時】令和2年2月6日(木) 17:30～18:30 【場所】奈良県立医科大学 基礎医学棟1階 第二講義室

【対象】教職員、学生(学外の方も参加可能)



## 本年度から施行の新たな勤務制度を知っていますか？



### 時差出勤勤務

8月1日より、職員のワーク・ライフ・バランスの推進と時間外勤務の抑制を目指し、時差出勤勤務制度が設定されました。



#### 概要

- ・1日の勤務時間を変更せず、始業及び終業時刻を繰り上げ又は繰り下げて勤務する
- ・7時00分～22時00分の間で勤務時間を設定できる



#### 対象者

法人雇用の全職員



#### 適用条件

- 始業及び終業時刻外に事前に予定されている業務がある場合
  - ・会議、説明会、研修、催事、延長窓口等
  - ・定期的実施する必要がある業務
- 上記以外で下記に掲げる理由がある場合、職場実態等を考慮した上で、適用対象とすることができる。「時差出勤勤務申出書」の提出が必要
  - ・育児全般にかかる理由とする場合
  - ・介護全般にかかる理由とする場合
  - ・その他ワーク・ライフ・バランスの推進を理由とする場合

各制度の詳細は、  
人事課人事係  
(内線2209, 2394)へ  
お問い合わせください。



#### 申請方法

事前に「時差出勤勤務命令票」を所属長に提出し、承認を得る  
※時差出勤の期間が連続する場合は、最長1ヶ月先まで申請可能



### 半日単位の年次有給休暇

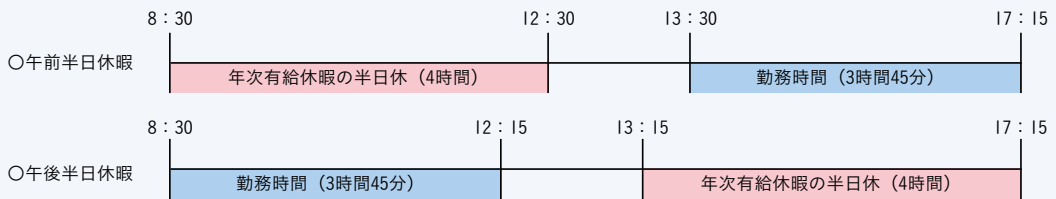
11月1日より、現行の1日又は時間単位だけでなく、半日単位でも年次有給休暇(以下、年休)が取得できるようになりました。



#### 概要

始業時間から連続する4時間又は終業時間までの連続する4時間(いずれも休憩は含まない)を半日の年休として取得できる ※残りの半日の年休は半日として取得可能

【取得例】通常勤務の場合



#### 対象者

法人雇用の全職員



#### 申請方法

事前に「年次有給休暇簿」を所属長に提出し、承認を得る



#### 【注意】

本年4月から年休が10日以上付与される労働者を対象に「年5日の年休の取得」が義務づけられました。1日又は半日単位の年休は取得のカウント対象ですが、時間単位の年休は対象外です！

#### 【編集後記】

今年も残すところあとわずかとなりました。皆さまはどんな1年を過ごされましたか？来年は「子年」で、干支も最初に戻り再スタートをします。当センターも原点に立ち返り、また新たな気持ちで教職員の皆さまが生き活きと活躍できるような環境づくりに取り組んでいきます。また、今号の制度紹介のような働く皆さまに役立つ情報発信の機会も大切にしていきたいと思っております。来年もどうぞ宜しくお願いいたします。

#### 【編集・発行】

奈良県立医科大学 女性研究者・医師支援センター「まほろば」  
〒634-8521 奈良県橿原市四条町840  
奈良県立医科大学 基礎医学棟5階  
TEL：0744-23-8011(直通)  
0744-22-3051(代)内線：2525  
E-mail：jshien@narmed-u.ac.jp

